

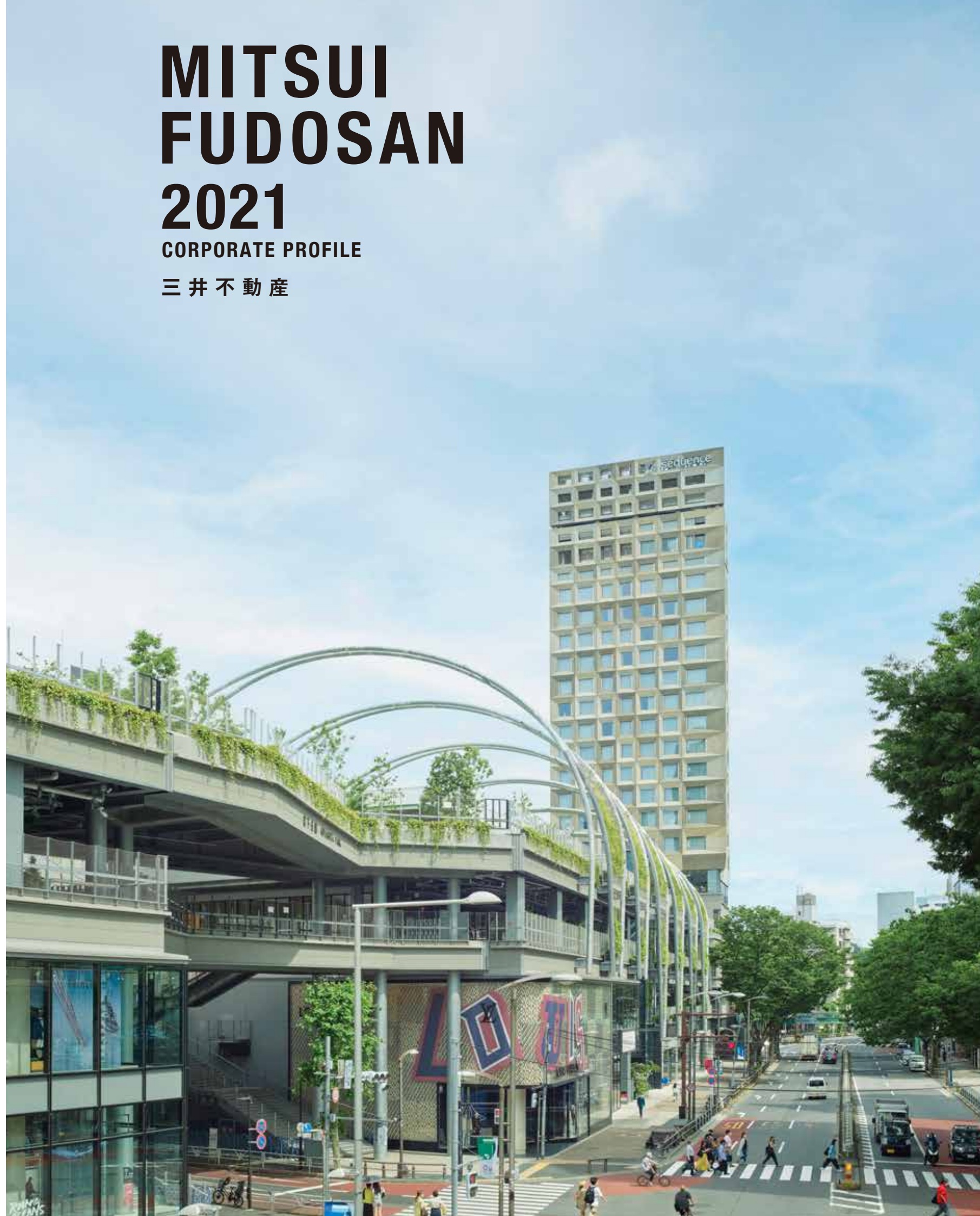


三井不動産
MITSUI FUDOSAN

MITSUI FUDOSAN 2021

CORPORATE PROFILE


三井不動産



GROUP STATEMENT 都市に豊かさと潤いを

GROUP VISION ～私たちはどうありたいか～

1 「」マークの理念

私たちは、「」マークに象徴される「共生・共存」「多様な価値観の連携」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、社会・経済の発展と地球環境の保全に貢献します。

～「&EARTH」を掲げて、人と地球がともに豊かになる社会をめざします。

2 進化と価値創造

私たちは、不動産ビジネスを進化させることにより、人々に「新しい時代の夢と感動」をもたらします。

～多様な「知」をとりいれ融合させることにより、国内外で新たな価値を創造します。

～社会環境・市場構造などの変化と、そのグローバルな潮流を積極的にとらえます。

3 成長性と収益性に富んだ三井不動産グループ

私たちは、グループ総体の力を公正にいかんなく発揮することによって、「成長性と収益性に富んだ三井不動産グループ」を実現します。

GROUP MISSION ～私たちに今求められていること～

1 ビジネスとくらしに関するソリューションとサービスの提供

・豊かさと潤いをもたらす、安全・安心で魅力にあふれる空間とソフト、サービスを提供して、街の価値を最大化する。

・多彩で革新的なソリューションを提供して、不動産投資市場の成長に貢献する。

2 グローバルな視野で顧客のパートナーへ

・顧客をビジネスの創造ならびに進化・発展の基盤と考える。

・顧客が真に求めているものを多面的に把握し、グループの総力で提案・実現する。

・顧客のパートナーとして、高い評価を獲得し続け、ブランド価値を高める。

3 企業価値の向上

・持続的な利益成長を図るとともに、不断のイノベーションを行うことにより企業価値を向上させる。

・経営資源の最適活用ならびに効率経営を追求する。

・常にリスクに対して適正なマネジメントを行う。

4 個の力を高め結集してグループの力へ

・多彩な人材、多様な価値観を融合し、パイオニア精神に満ちた独創性を育む。

・個々人がプロフェッショナルな知識・能力を磨き、互いに共有して、付加価値創造力を高める。

・企業倫理と規律、コンプライアンスについて、常に高い意識を持って行動する。

1999年6月制定、2018年4月改定

INDEX

03 ごあいさつ

05 ESG経営

06 脱炭素への取り組み
人材への取り組み

07 三井不動産の街づくり

09-10 日本橋再生計画

11-12 柏の葉スマートシティ

13-14 都心の大規模プロジェクト

15-16 グローバルな取り組み

17 オフィスビル

19 商業施設

23 ホテル・リゾート

25 すまいとくらし

27 ソリューションパートナー

28 ロジスティクス

29 新規事業への取り組み

30 S&E総合研究所／ケアデザイン室

31 概要／役員／主要な国内ネットワーク

32 組織図

33 主要グループ会社

34 業績の推移

35 沿革



【ごあいさつ】



（左）代表取締役会長 岩沙弘道
（右）代表取締役社長 菰田正信

街づくりを通して持続可能な社会の構築を実現

三井不動産グループの 社会課題解決に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症との戦いが続いています。経済活動が大幅に制限され、個人消費が縮小するとともに、インバウンド需要が消失し、観光、外食業界を中心に幅広い産業が打撃を受けています。ワクチンの接種が進められていますが、感染力の強い変異ウイルスの影響等により、人々の行動が制約され、経済活動が長期間にわたり停滞することも想定されています。このような事業環境のもと、当社グループは人命を守るために感染拡大防止に積極的に協力するという観点から、商業施設およびホテルの休館など、企業の社会的使命を果たす取り組みを行ってまいりました。また、当社グループの施設を安心してご利用いただくための感染防止対策を徹底し、「感染拡大防止」と「施設運営の正常化」に取り組むこととともに、新型コロナウイルス感染症による人々の暮らし方や働き方の構造的な変化に対応

すべく、法人向け多拠点型シェアオフィス「ワークスタイリング」の拠点拡大、リアル店舗共生型ECモール「&mall」事業の加速、ホテル客室のテレワーク利用等に取り組むなど、グループ長期経営方針「VISION 2025」に基づき、新たな価値創造に取り組んでまいりました。

また、当社グループは、「街づくりを通して、持続可能な社会の構築を実現」に向けて様々な社会課題の解決に寄与することがデベロッパーの社会的使命であると認識しており、「環境負荷低減」と「人材活躍」の分野において新たに数値目標を設定いたしました。

特に、脱炭素社会の実現に向けて、グループ全体の温室効果ガス（GHG）排出量を2050年度までにネットゼロとする目標を定めました。電気と熱を安定供給するスマートエネルギープロジェクトを、日本橋エリアに加え、豊洲エリアにおいても稼働させ、供給エリア全体のCO₂排出量を日本橋エリアで約30%、豊洲

エリアで約20%削減するとともに、オフィスビル等の使用電力に再生可能エネルギーを組み入れてグリーン化を図るなど、積極的に省エネルギーや再生可能エネルギーの活用に関する取り組みを進めてまいりました。また、首都圏で所有するすべての施設で2030年度までにグリーン電力化を推進し、東京ミッドタウン3施設や日本橋エリアなど25棟で2022年度末までに先行導入することを決定しました。さらに、八重洲エリアにおけるスマートエネルギープロジェクトや、日本橋における木造17階建ての高層オフィスビル計画など、環境を重視した取り組みを一層推進してまいりました。

あわせて、企業等に対して気候変動リスクと機会に関する情報開示を推奨する気候関連財務情報開示タスクフォース「TCFD」の提言に基づく情報開示を行いました。また、社会のニーズの変化に対応し、新たな価値創造を実現するため、女性管理職比率を2025年度までに10%、2030年度までに20%とすることを目標として定め、多様な価値観・才能・ライフスタイルを持った人材が、それぞれの持てる力を最大限に発揮するための取り組みを進めてまいりました。

各事業の状況

オフィスビル事業では、「文京ガーデン ゲートタワー」等が竣工したほか、法人向け多拠点型シェアオフィス「ワークスタイリング」において、働き方の多様化を捉え、新サービスである個室特化型サテライトオフィス「ワークスタイリング SOLO」や、「三井ガーデンホテルズ」等の提携拠点を含む76拠点を新たに開設し、合計126拠点となり、会員数も大幅に増加いたしました。

商業施設事業では、公園一体型の開発の新ブランドである「RAYARD」(MIYASHITA PARK・Hisaya-odori PARK)を開業したほか、当社初のアウトレットモール「三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド」は、大きくスケールアップしてリニューアルオープンしました。

ホテル・リゾート事業では、ホテル客室の「ワークスタイリング」利用や、定額制で居住ニーズを取り込む「サブ住む」プランなどの新商品を販売しました。また、デジタルトランスフォーメーションを取り入れた新ブランド「sequence」(MIYASHITA PARK・KYOTO GOJO・SUIDOBASHI)のほか、オリジナルブランドによる初のラグジュアリーホテル「HOTEL THE MITSUI KYOTO」を開業しました。

国内の住宅マーケットは、利便性の高い都心や駅近物件は引き続き好調な売れ行きとなっています。また、テレワークの伸張など、働き方の変容により顧客のニーズが多様化し、郊外物件や戸建ても堅調に推移しています。

海外事業においては、台湾において、「MGH Mitsui Garden Hotel 台北忠孝」を開業し、「三井ショッピングパーク ららぽーと上海金橋」や「三井ショッピングパーク ららぽーと BUKIT BINTANG CITY CENTRE」等の開発を進めました。

また、スポーツ・エンターテインメントを軸とする街づくりを拡大し、スタジアム・アリーナ事業という新規事業領域に進出するため、株式会社東京ドームの株式公開買付けを実施し、2021年1月25日付で当社の連結子会社といたしました。

今後の展望

新型コロナウイルス感染症を契機として、人々の暮らし方や働き方に変化が生じました。例えば、テレワークが普及し、その有用性が認識されましたが、一方で、リモートワークの限界も明らかになり、リアルでなければできないもの、リアルの方がより良いものがあることも再認識いたしました。これらの変化の中には、ポストコロナで元に戻るものと、戻らないものがあり、何が不可逆的な変化なのかということのを的確に捉える必要があります。

これからの働き方は「本社」と「分散型オフィス」と「在宅」の組み合わせとなり、買い物は「リアル店舗」と「Eコマース」のオムニチャネルになると考えています。つまり、ポストコロナの街づくりでは、リアルとデジタルの最適な組み合わせを考えることが重要であるということです。さらに、デジタル技術では代替できないリアルな空間の価値を最大限に高めることで、ポストコロナ時代のビジネスモデルの確立を目指してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症を契機に加速した顧客ニーズの変化に的確に対応するためには、ビジネス構造を、商品別・施設別ではなく、お客様の行動別に捉える必要があります。そのためにも、当社グループが掲げる「リアルエステート・アズ・ア・サービス」、すなわち、「不動産をお客様にモノとしてではなくサービスとして提供する」という考えのもと、デジタルトランスフォーメーションを積極的に加速することで、事業の競争力を一層高めたいと考えています。

ESGに関する取り組みとしては、特に脱炭素社会の実現に向けて、当社グループとして定めた温室効果ガス（GHG）排出量を2050年度までにネットゼロにするという目標を達成すべく、グループ全体の排出量削減に関するロードマップを策定し、積極的に省エネルギー、再生可能エネルギーの活用、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）・ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）化等を推進してまいります。また、女性の活躍推進やグローバル人材・IT人材の採用・育成など、ダイバーシティを一層推進するとともに、働き方改革にも継続的に取り組むことで、多様な人材が活躍できる社会の実現を目指してまいります。

これらの様々な取り組みを通じて、当社グループはESG課題の解決やSDGsの達成に貢献するとともに、グループ長期経営方針「VISION 2025」の達成に向け、「街づくりを通して、持続可能な社会の構築を実現」、「テクノロジーを活用し、不動産業そのものをイノベーション」、「グローバルカンパニーへの進化」をビジョンに掲げ、引き続き「顧客志向の経営」、「ビジネスイノベーション」、「グループ経営の進化」の3つの基本戦略の実践による価値創造に取り組んでまいります。

三井不動産グループ長期経営方針「VISION 2025」における基本戦略

3つの基本戦略を実践し、
成長性と収益性に富んだ
三井不動産グループであり続けるとともに、
持続可能な社会の構築に貢献します。

顧客志向の経営
▶顧客の価値観の変化への的確に対応
▶潜在ニーズを顕在化させ、マーケットを創造
▶グローバルレベルでの実践

**Society 5.0の実現
SDGsへの貢献**

社会的共通価値の追求

**持続可能な社会の構築
継続的な利益成長**

**ビジネス
イノベーション**
▶不動産業そのものをイノベーション
▶デジタル技術の徹底的な活用
▶新たな収益モデルの構築

**グループ
経営の
進化**
▶グループシナジーの強化
▶海外も含めたグループ連携の推進
▶外部連携強化・オープンイノベーション実践

[ESG経営]

三井不動産グループは、継続的な価値創造を実現するため、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)を

重要な経営課題と位置づけ、2018年5月に策定したグループ長期経営方針「VISION 2025」において、

重点的に取り組むべき6つの目標を掲げました。

これらに取り組むことで街づくりを一層進化させ、「持続可能な社会」と「継続的な利益成長」の実現を目指します。

三井不動産グループのESG経営の考え方

重点的に取り組む目標

E 環境	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 街づくりを通じた超スマート社会の実現 ▶ 多様な人材が活躍できる社会の実現
S 社会	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 健やか・安全・安心な暮らしの実現 ▶ オープンイノベーションによる新産業の創造
G ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境負荷の低減とエネルギーの創出 ▶ コンプライアンス・ガバナンスの継続的な向上

街づくりの一層の進化

- 地域に根差したコミュニティの創出、良質なタウンマネジメントの推進
- 新技術を積極的に活用し、超スマート社会の「場」であるスマートシティを実現

持続可能な社会

継続的な利益成長

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Society 5.0
ソサエティ

- IoTですべての人とモノがつながり、新たな価値が生まれる社会
- イノベーションにより、さまざまなニーズに対応できる社会
- AIにより、必要な情報が必要な時に提供される社会
- ロボットや自動走行車などの技術で、人の可能性がひろがる社会

三井不動産グループのESG経営について、より詳しい内容は以下をご覧ください。



■ ESG経営/サステナビリティ
https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/



■ 統合報告書
<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/ir/library/annual/>

[脱炭素への取り組み]

気候変動に対する認識

三井不動産グループは、地球温暖化を抑制して、自社グループの気候変動によるリスクの低減と、人やその他の生物が生息できる環境を守り持続可能な脱炭素社会を形成していくため、エネルギー消費を抑え温室効果ガスの排出が少ない建物や街づくり提供・運営していくことが、不動産デベロッパーとしての大きな社会的使命と考えています。

取り組み方針

グループ環境方針に基づき、エネルギー消費や温室効果ガスの排出が少ない建物や街づくりを推進するとともに、共同事業者やテナント企業、出店者さま、お客さまとともに省エネルギー活動などの地球温暖化対策を進め、脱炭素社会の形成を目指します。

取り組み指標と目標および達成状況

当社グループの気候変動に関する指標と目標および達成状況は以下の通りです。

項目	目標 (KPI)
【中期目標】 温室効果ガス(GHG)排出量削減	2030年度までに▲30%(2019年度比) SBTイニシアティブ認定
【長期目標】 温室効果ガス(GHG)排出量削減	2050年度までにネットゼロ
【長期目標】 RE100 (事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー割合)	2050年度までに100%

[人材への取り組み]

三井不動産は、「都市に豊かさや潤いを」をグループ・ステートメントに掲げ、創業以来、受け継ぎ育んできた進取の精神と自由闊達な社風を推進力に、多彩で革新的なビジネスと暮らしに関するソリューションとサービスを提供してきました。

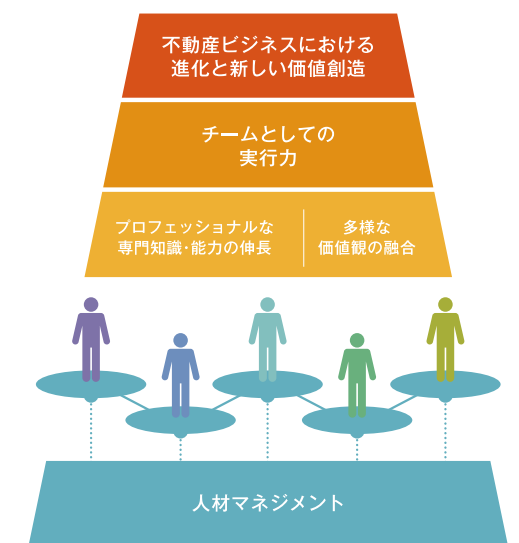
不動産デベロッパーとして新しい価値創造をしていくうえで最も重要な原動力は、人材という資産であると考えています。

個々人がプロフェッショナルな知識・能力を磨き、付加価値創造力を高める。

多様な価値観・能力が融合し、チームとしての実行力に変えていく。

社員一人ひとりと向き合い、その活躍の舞台を整えるのが、

三井不動産における人材マネジメントの考え方です。



ダイバーシティへの取り組み

三井不動産グループの経営理念である「&」マークは、「共生・共存」と「多様な価値観の連繫」の理念を象徴しています。三井不動産では、劇的に変化する社会のニーズに対応し、新たな価値創造をしていくために、多様な人材が持てる力を最大限発揮するための組織づくりを進めています。

取り組み例

人材育成 (教育・研修・グローバル)	働き方改革	両立支援 (育児・介護)	多様な人材の活躍 (女性・グローバル・シニア)	働きやすい 職場づくり
-----------------------	-------	-----------------	----------------------------	----------------

当社は従業員の健康経営や女性活躍推進、子育てサポートに関する取り組みについて、様々な認定を受けています。



女性活躍推進に関する取り組みが優良な企業として、「えるぼし」に認定



次世代育成推進法に基づき、子育てサポート企業として、「くるみん」に認定



2020 健康経営優良法人
Health and productivity
New 500

健康経営に積極的に取り組んでいる企業として、「健康経営優良法人」に認定



2018 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

性別多様性に優れた企業として、「MSCI日本株女性活躍指数」の構成銘柄に選定

三井不動産株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による三井不動産株式会社の後援、推薦、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

MITSUMI FUDOSAN'S NEIGHBORHOOD CREATION



三井不動産の 街づくり

09-10 | 日本橋再生計画

11-12 | 柏の葉スマートシティ

13-14 | 都心の大規模プロジェクト

15-16 | グローバルな取り組み

未来を見据え、街づくりのさらなる進化を。

当社は、既存施設に加え、東京都心エリアを中心に、充実した新規の開発プロジェクトを有しています。

それぞれのプロジェクトで、私たちの強みである「付加価値が高まるポテンシャルを持ったエリアを見抜く力」、

「最適な開発コンセプトを創造し、コンセプトを実現する力」、街の価値を時の経過とともに高めていく「経年優化する力」を最大限に発揮。

スマートシティへの取り組みを進化させながら、「ミクストユース化」「ハードとソフトの融合」を一層進め、街の価値を最大化していきます。

日本橋再生計画

官・民・地元一体の、地域の活性化と新しい魅力づくり。

「残しながら、蘇らせながら、創っていく」を開発コンセプトとし、

三井グループが300余年ともに歩んだ歴史ある日本橋の街で、官・民・地元が一体となり「日本橋再生計画」を推進しています。

ミクストユースの再開発で街の機能を多様化し、賑わいを創出することで、地域をさらに活性化するとともに、街の新たな魅力を引き出します。



COREDO室町1・COREDO室町3 2015年グッドデザイン賞受賞

「日本橋再生計画」の街づくり

日本橋は、五街道の起点・水陸の要所として、日本全国からあらゆる人・もの・ことが集まる「日本の中心」でした。しかし、バブルが崩壊した1990年代後半には、その賑わいを失いました。そうした中、かつての賑わいを取り戻そうと、官・民・地元が一体となり、「日本橋再生計画」がスタートしました。

「日本橋再生計画」ビジョン

「未来に続く街道の起点、日本橋」

江戸時代の日本橋は、五街道の起点として、日本全国から人・もの・ことが集まり、それらの交流によって新たな産業や文化を生み出した非常にイノベーティブな街でした。そのような中心性ある街を、現代においては世界を舞台に再現したいと思えます。世界中から仲間を集め、交流し、未来に向けた新しい価値を、世界に向けて発信していく。その起点となる街を、私たちは目指していきます。

「日本橋再生計画」開発コンセプト



残しながら

建造物・伝統ある老舗・街の歴史や文化



蘇らせながら

街の景観・水と緑・賑わい



創っていく

次世代に向けた新たな街の魅力
「日本橋オリジナル」の発信

日本橋再生計画のあゆみ

2019年より「日本橋再生計画」の第3ステージが始動。第1ステージ、第2ステージを通して「街の用途の多様化」「日本橋の固有の魅力を活かした街づくり」「産業の活性化・イノベーションの促進」を実現してきました。

第1ステージ

街の機能を多様化させる
ミクストユース物件の開発。

(COREDO日本橋/日本橋三井タワー/COREDO室町1)

第2ステージ

ソフトとハードが
高次元に融合した街づくり。

(COREDO室町2・3・テラス/福德神社/福德の森等)

第3ステージ

「共感・共創・共発」の考え方のもと、
日本橋オリジナルの価値発信。

歴史をふまえ、未来へつなげる日本橋の街づくり

2014年にスタートした「日本橋再生計画」第2ステージからは、「産業創造」「界限創生」「地域共生」「水都再生」の4つのキーワードに基づきソフトとハードの融合した街づくりを推進。街の用途の多様化や、企業・人の多様化・国際化が進んでいます。

産業創造

製業系企業が多く立地する日本橋の地歴と特性を活かし、ライフサイエンスイノベーション分野における産業創造を推進しています。



日本橋ライフサイエンスハブ

界限創生

歴史と文化が息づく路地の魅力を活かして、街全体に回遊性が生まれる仕掛けづくりをしています。



日本橋仲通り

地域共生

古くから受け継がれるコミュニティや文化を大切に、来街者や居住者、就業者が安心して滞在することができる機能や仕組みを備えています。



福德神社

水都再生

2011年、日本橋船着場を整備し舟運観光が本格化。かつて舟運都市であった日本橋を、再び水都東京の拠点として再生します。



NIHONBASHI MEGURU FES

SDGsへの取り組み

これからの日本橋における3つの重点構想

第3ステージでは、「共感・共創・共発」の考え方のもと、「豊かな水辺の再生」「新たな産業の創造」「世界とつながる国際イベントの開催」の3つの重点構想に基づき、世界中の人・もの・ことが集まり、交流し、未来に向けた新しい価値を創造する街を目指します。

豊かな水辺の再生



日本橋越しから見る箱崎方面

※イメージ

新たな産業の創造



宇宙ビジネス拠点 X-NIHONBASHI

世界とつながる国際イベントの開催



日本橋三井ホール

日本橋川沿いでは今後、敷地面積約6.7ha(約2万坪)、施設の延床面積37万坪に及ぶ5つの再開発(※)が予定されています。本開発と、首都高速道路の地下化が実現すると、川幅含め幅約100m・長さ約1200mに及ぶ広大な親水空間が誕生する予定です。川沿いには、商業店舗、広場・オフィス・アコモデーション施設等ミクストユースの開発が展開され、親水空間にはアートや憩いのスペースが整備され、その空間を活かし、エリアを代表するフェスティバルやカンファレンスの実施も予定しています。日本橋をハブとする舟運ネットワークはウォーターフロントの多彩な拠点と結ばれ、日本橋は都心ウォーカーネットワークと舟運ネットワークが重なる東京の大動脈を目指しています。

「X-NIHONBASHI」は、日本橋の街において「場」の提供と「機会」の創出を通じて宇宙関連領域のビジネス拡大に貢献、そこに集まる産・学・官の多様なプレイヤーと共創活動を推進し、地上においてもイノベーションを起こしていくための一連のプロジェクトです。宇宙ビジネスを牽引する新たな「場」として、日本橋三井タワーに共創や情報発信の拠点として「X-NIHONBASHI TOWER」を2020年12月に開設し、宇宙ビジネス活性化促進プロジェクト「X-NIHONBASHI」を本格的に始動させました。今後も、「X-NIHONBASHI」の推進を通じて、「日本橋再生計画第3ステージ」における戦略カテゴリである「宇宙」領域の取り組みを進めていきます。

国内・海外からの高い交通利便性を生かし、三井不動産が有するホール・カンファレンス、公共空間も含む「場」を有機的につなぎながら、街全体をイベント会場化し、ビジネスとエンターテインメントが融合した国際発信力ある大型イベントの開催を検討していきます。また、これまでの街づくり活動を通して築いてきた、老舗企業や店舗との強固な信頼関係、様々なクリエイターの方々のリレーションを生かし、伝統と革新が融合する、魅力的な企画の創出を目指します。

※計画内容は今後変更となる可能性があります。

柏の葉スマートシティ

この街の歩みは、「世界の未来像」につながっている。

環境、エネルギー、そして食料や健康。解決していかなければならない課題は、少なくない。日本は、世界より一足先に、その課題に直面する。そんな使命感を抱き、柏の葉スマートシティでは、「公・民・学」の連携をベースにした、すべての人にオープンな解決のステージづくりをはじめています。「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」というテーマを掲げ、この街は、「世界の未来像」を具現化していきます。



柏の葉スマートシティ

「世界の未来像」につながる街づくり

世界の未来のために、この日本が託された課題の解決に向けて、私たちは街づくりのテーマを3つ掲げました。この地球にどこまでもやさしい「環境共生都市」。日本の新しい活力となる成長分野を育む「新産業創造都市」。すべての世代が健やかに、安心して暮らせる「健康長寿都市」。ここ柏の葉スマートシティは、この3つのテーマの最適解を求め、ハードとソフト、そしてここに集うひとの心まで、すべてを叶えることで、「世界の未来像」を具現化していくのです。



柏の葉スマートセンター

環境共生

再生可能エネルギーを活用し、地域でエネルギーを創る「創エネ」や、大規模蓄電池による「蓄エネ」を推進します。



まちの健康研究所「あ・し・た」

健康長寿

疾病予防に向けた街づくりを推進しています。自発的な健康増進・疾病予防を促すプログラムの提供などを通して、街の健康に貢献し、将来的には社会保障費の削減を通して、よりサステナブルな街を目指しています。



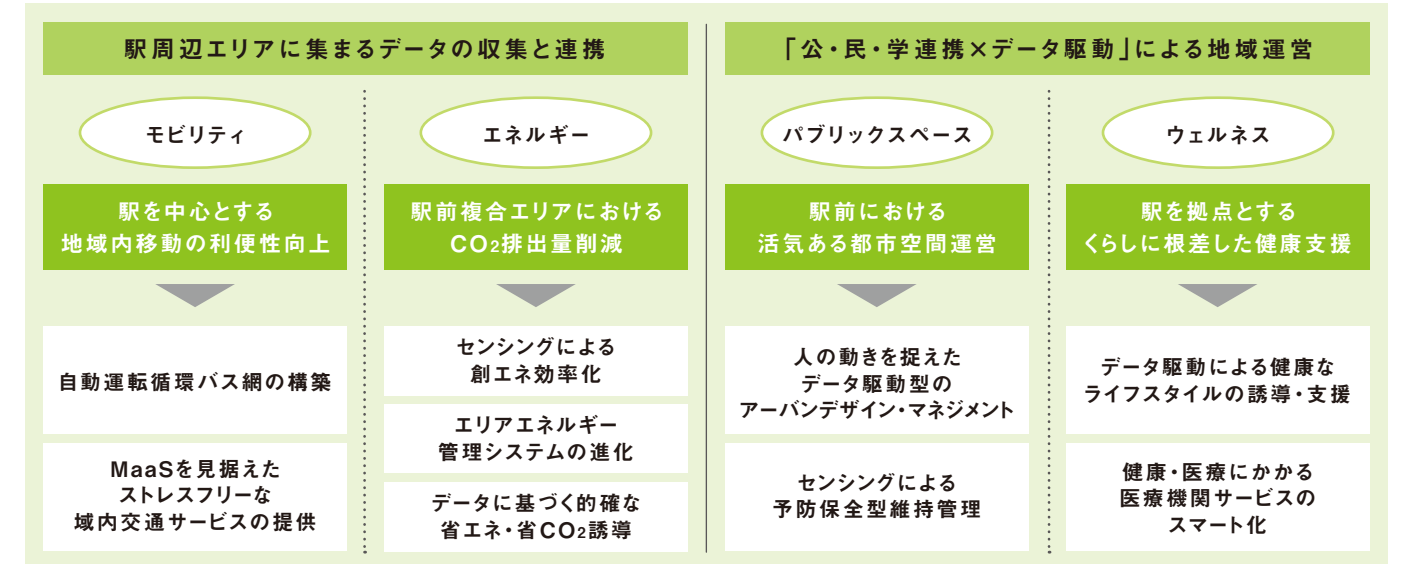
KOILファクトリー

新産業創造

オープンイノベーションを後押しする会員制共有ワークスペースや、留学生・研究者向けのシェア型賃貸住宅、国際的なビジネスコンテストの開催など、日本の新しい活力となる成長分野の育成を支えています。

駅を中心とするスマート・コンパクトシティ

「柏の葉キャンパス」駅を中心とする半径2km圏の柏の葉エリアには、東京大学、千葉大学、国立がん研究センター東病院などの拠点施設が存在しています。近年では、東京大学柏IIキャンパスに、国立研究開発法人産業技術総合研究所柏センターが設立されるなど研究機関の進出が進んでいます。「柏の葉スマートシティコンソーシアム」では、さらなる街の発展に向けて、人・モノ・情報が集まりやすい駅中心の圏域の特性を活かし、民間データ・公共データが連携したデータプラットフォームを構築し、AI/IoTなどの新技術の導入により、データ駆動型の「駅を中心とするスマート・コンパクトシティ」の形成を目指します。



自動運転バス

2019年より、地域の循環バスを実現することを目的として、柏の葉キャンパス駅から東京大学柏キャンパス間の約2.6kmの一部区間において、自動運転バスによる営業運行実証実験を実施。2021年1月からは新車両を導入し、ドライバー不足による公共交通の利便性の悪化などの社会課題の解決に向けて、継続的に実証実験の運行を行っています。



自動運転バス営業運行実証実験 使用車両

KOIL TERRACE

「KOIL TERRACE」は、多様な働き方に対応できることを目指し、開放感あふれる5層吹き抜けのアトリウムや柏の葉の景観を堪能できるラウンジ、リラクゼーションなど豊富な共用部を完備しています。オフィスの前には水辺が広がり、豊かな自然環境の中で働くことができます。



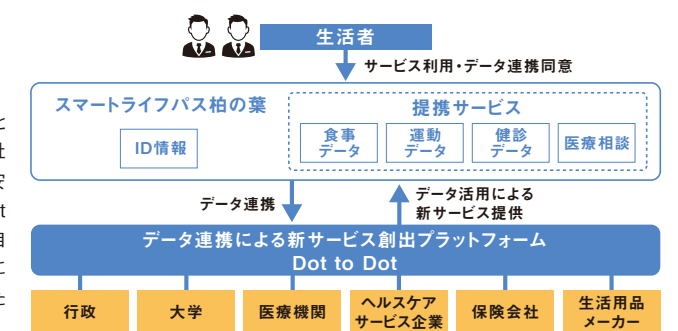
KOIL TERRACE



SDGsへの取り組み

柏の葉スマートシティにおける、新たな価値創造の場づくり

柏の葉の生活者（柏の葉キャンパス駅から半径2キロ圏内に居住する方）と新たなサービスをつなげることを目的として、当社と日本ユニシス株式会社は、生活者が所有するパーソナルデータを、本人の意思に基づき、安心・安全に業種・業界を横断して流通させることを可能とするプラットフォーム「Dot to Dot」を共同で開発しました。このプラットフォームを通して参加企業は自社と他社のデータを掛け合わせたりすることによって、新たなサービス開発に繋がります。住民もまた同意のもとデータ提供などを行い、そこから生まれたサービスをいち早く使えるなどのメリットが生まれます。



都心の大規模プロジェクト

価値と感性で開発が進む、都心とベイエリア。

日本ならではの価値と感性で、世界に類を見ない独創的な街をカタチにする東京ミッドタウン。

東京のウォーターフロントに新たな価値を創造するベイエリアの街づくり。

都市の理想像を世界へ発信していきます。

東京ミッドタウン

2007年に六本木で開業した、オフィス・住宅・ホテル・商業施設・美術館など、都市に求められる様々な機能を備えた大規模複合施設です。これらの機能の掛け算によって、街のシナジーを生み出す工夫をしています。



東京ミッドタウン 2007年グッドデザイン賞受賞



ショップ&レストラン



ザ・リッツ・カールトン東京



サントリー美術館 ©木奥恵三



芝生広場

東京ミッドタウン日比谷

オフィスや商業施設、ビジネス連携拠点などから構成される大規模複合施設です。

日比谷というエリアのポテンシャルを最大限に活かしつつ、

様々な都市機能を掛け合わせ、未来志向の新たな体験や価値を創出。上質な時間を発信する街づくりを目指します。



東京ミッドタウン日比谷



パークビューガーデン



Hibiya Festival(2019年度)



アトリウム



日比谷ステップ広場

東京ミッドタウン八重洲

八重洲は、日本全国につながる多彩なモビリティの結節点=ターミナル拠点であり、日本の玄関口といえる街です。

施設コンセプトを「ジャパン・プレゼンテーション・フィールド ~日本の夢が集う街。世界の夢に育つ街~」と定め、

世界中・日本中から人や情報、モノ・コトが集まり、交わり、新しい価値を生み出し世界に向けて発信していく街づくりを目指します。

脱炭素社会の実現に向けた新たなグリーン電力の活用

テナント企業のニーズに応じて、当社が保有・開発した全国5か所の太陽光発電所の環境価値を「トラッキング付非化石証書」として付加し、グリーン電力として供給します。これによりご利用される企業の使用電力は、国際基準であるRE100に適合した電気として認定されます。



東京ミッドタウン八重洲(2022年8月竣工予定)



5階屋外テラス

※イメージ



2階オフィスロビー

※イメージ

ベイエリアの街づくり

かつて石川島造船所が立地していた豊洲エリアは、商業施設やタワーマンションをはじめ、大学やオフィス、公園ができたことにより、住宅地やオフィス街として大きく発展しました。

街の人口や来街者が年々増加し、住む・働く・訪れる人々が集い、賑わいのある街へと成長し続けています。



豊洲ベイサイドクロス(2020年10月全体竣工)



アーバンドック パークシティ豊洲
2008年グッドデザイン賞受賞



アーバンドック ららぽーと豊洲
2007年グッドデザイン賞受賞



江戸前場下町(2020年1月開業)

WANGAN ACTION

「住まう方々の幸せを提案していく」という想いのもと、街の新たな魅力づくりに注目。地域への愛着を育みながら暮らし続けたい街となるための価値づくりを追求しています。

グローバルな取り組み

ノウハウや経営資源を活かし、世界各地で安定性と成長性に富んだポートフォリオを構築。

1972年以来、欧米の主要都市におけるビル事業をはじめ、ホテル事業、住宅事業などを世界で展開。

現在も、欧米における優良なポートフォリオの構築や、成長性の高いアジアでの開発事業を推進しています。



事業展開エリア

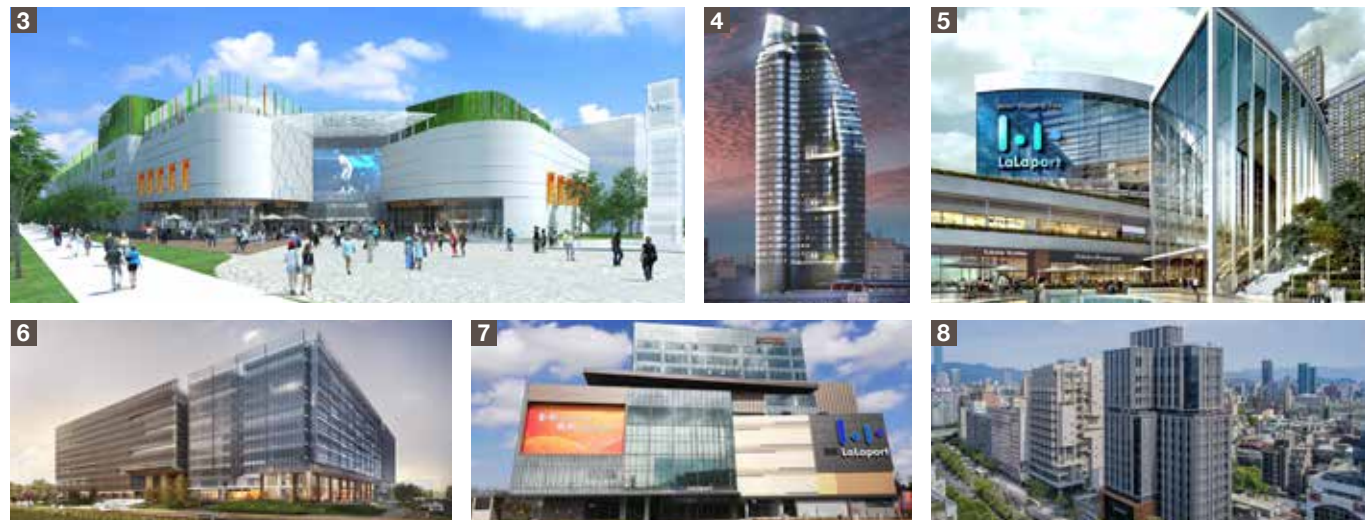
EUROPE



1 テレビジョンセンター再開発計画/ホワイトシティプレイス再開発計画 [オフィス/住宅/ホテル]イギリス/ロンドン
(テレビジョンセンター 第1期2018年全体竣工、西オフィス棟2023年竣工予定)
(ホワイトシティプレイス ゲートウェイセントラル棟2022年竣工予定)

2 1エンジェルコート [オフィス/店舗]イギリス/ロンドン(2017年竣工)

ASIA



3 三井アウトレットパーク 台湾林口 [商業施設]台湾/新北市 (第1期2016年開業、第2期2024年開業予定)

4 アイデオ キュー ヴィクトリー [住宅]タイ/バンコク(2020年竣工)

5 (仮称)三井ショッピングパーク ららぽーとクアラルンプール [商業施設]マレーシア/クアラルンプール(2021年開業予定)

6 RMZエコワールド30 [オフィス]インド/バンガロール (第1期2022年、第2期2023年竣工予定)

7 三井ショッピングパーク ららぽーと上海金橋 [商業施設]中国/上海市(2021年開業)

8 MGH Mitsui Garden Hotel 台北忠孝 [ホテル]台湾/台北市(2020年夏開業)

NORTH AMERICA



9 ハレクラニ [ホテル]アメリカ/ホノルル(1984年開業)

10 (仮称)50ハドソンヤード開発計画 [オフィス/店舗]アメリカ/ニューヨーク(2022年竣工予定)

11 55ハドソンヤード [オフィス/店舗]アメリカ/ニューヨーク(2018年竣工)

12 ハレプナ ワイキキ [ホテル]アメリカ/ホノルル(2019年開業)

13 1251アメリカ街 [オフィス/店舗]アメリカ/ニューヨーク(1986年取得)

14 イノベーションスクエアPhaseII [ラボオフィス]アメリカ/ボストン(2021年竣工予定)

※掲載の画像は一部イメージです。

オフィスビル

その先の、オフィスへ

三井のオフィス

「三井のオフィス」は誰もが自分のカラーを活かして働けるよう、ワークスタイル／ワークプレイスの多様化を先取りし、単に「働く」というだけではなく、様々なon time/off timeを過ごし、集う、そんな新しい生活の場を提供します。



- 1 三井本館（重要文化財指定）
東京都中央区（1929年3月竣工）
- 日本橋三井タワー
東京都中央区（2005年7月竣工）
2006年グッドデザイン賞受賞
- 2 東京ミッドタウン八重洲
東京都千代田区（2022年8月竣工予定）
- 3 日本橋室町三井タワー
東京都中央区（2019年3月竣工）
- 4 Otemachi One
東京都千代田区（2020年2月竣工）
- 5 霞が関ビルディング
東京都千代田区（1968年4月竣工）
- 6 名古屋三井ビルディング北館
愛知県名古屋市（2021年1月竣工）
- 7 中之島三井ビルディング
大阪府大阪市（2002年8月竣工）
2003年グッドデザイン賞受賞
- 8 札幌三井JPビルディング
札幌市中央区（2014年8月竣工）
2014年グッドデザイン賞受賞

多様化する顧客のニーズに応じて、様々なサービスを提供

COLORFUL WORK PROJECT
三井のオフィス

自由に柔軟に働き方を選べるオフィスを目指す、「COLORFUL WORK PROJECT」を推進。100拠点を越える法人向け多拠点型シェアオフィス「ワークスタイリング」や、テナント企業向け会員制施設・サービス「mot.」、テナント企業向けWebサービス「& Life-Biz」「&well」等、様々なサービスを提供することで多様な働き方を実現します。

働き方の自由度を大きく広げる法人向けサービス「ワークスタイリング」

2017年の誕生以来、全国100以上の拠点ネットワークを展開。企業やビジネスパーソンの新しい働き方に対応できる、多彩なサービスを提供しています。



ワークスタイリングSHARE

全国の拠点を10分単位で自在に使える法人向け多拠点型サテライトオフィス。



ワークスタイリング八重洲



ワークスタイリング汐留アネックス

ワークスタイリングFLEX

期間と席数が自由に選べる法人向けフレキシブルサービスオフィス。



ワークスタイリング東京ミッドタウン



ワークスタイリング東京ミッドタウン日比谷

ワークスタイリングSOLO

2020年12月より新たに開始した、郊外エリアを中心に拠点展開する法人向け個室特化型サテライトオフィス。テレワークに特化した環境で在宅勤務の課題を解決します。



ワークスタイリングSOLO新百合ヶ丘（内観）



ワークスタイリングSOLO下北沢（個室内）

テナント企業向けコミュニティサイト「& Life-Biz」

テナント企業のLife（プライベート）とBusiness（仕事）がさらに充実するよう、様々な情報や場をWEBとフリーペーパーにて提供しています。



テナント企業向け会員制施設・サービス「mot.」

「あなたの“もっと”をかなえる場所」をコンセプトとし、オフィスでの一日を快適に過ごしていただくために、2018年より様々なサービスを導入・提供しています。



会員制フィットネスジム



貸会議室

健康経営支援サービス「&well」

日常に彩を添える健康プログラムなどを通じ、従業員の心身ともに健康なビジネスライフと企業の健康経営の推進をサポートします。



&well 夏フェスタ

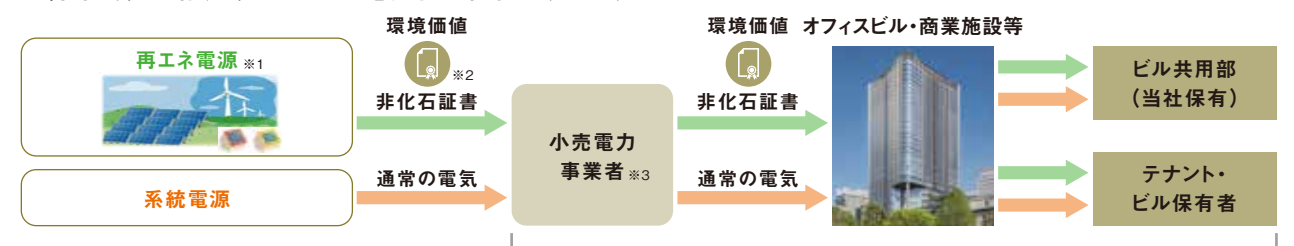


SDGsへの取り組み

脱炭素社会の実現に向けた「グリーン電力提供サービス」

当社の様々なグリーン電力化の仕組みを活用し、当社が保有・賃貸するオフィスビルなどで使用する電力をトラッキング付非化石証書の使用によって、実質的に再生可能エネルギーとして提供するサービスです。国際基準であるRE100等に対応しており、テナント企業それぞれの経営計画や段階的なグリーン電力化計画などに応じ柔軟に設計できるのが特徴です。この仕組みを通じ、入居テナントのみならずのESG課題の解決をサポートしています。

三井不動産が推進するグリーン電力化の仕組み（イメージ）



※1：三井不動産が保有する太陽光発電所、東京電力エナジーパートナー（株）が契約するFIT住宅用太陽光発電設備、提携する発電事業者が保有する太陽光など。※2：FIT電源の場合はJEPX（日本卸電力取引所）を経由して取得、非FIT電源の場合は電力事業者から取得。※3：特定電気事業エリアは三井不動産TGSスマートエナジー（株）、その他は東京電力エナジーパートナー（株）ほか。

「グリーン電力提供サービス」

商業施設

「Growing Together」というコンセプトのもと、
 地域に根ざし、お客さまとともに育てていく商業施設の新しいカタチを実現。
 日本全国の地域コミュニティに合わせ、多種多様な商業施設を手がけています。



RAYARD MIYASHITA PARK 2020年グッドデザイン賞受賞

ますます便利に、賑やかに 三井ショッピングパーク ららぽーと



ファッションをはじめ、食やエンターテインメント施設などが集結し、全国に展開するリージョナル型ショッピングセンター。
 今後も続々とオープン予定です。ショッピング以外の楽しみも充実し、地域コミュニティの核となる施設づくりを進めています。



ららぽーと愛知東郷
愛知県愛知郡東郷町 (2020年9月オープン)



ららぽーと沼津
静岡県沼津市 (2019年10月オープン)



ららぽーとTOKYO-BAY
千葉県船橋市 (1981年4月オープン)



ららぽーとEXPOCITY
大阪府吹田市 (2015年11月オープン)



ラゾーナ川崎プラザ[®]
神奈川県川崎市 (2006年9月オープン)
2007年グッドデザイン賞受賞



ダイバーシティ東京 プラザ[®]
東京都江東区 (2012年4月オープン)

※施設名称に「ららぽーと」を冠していないリージョナル型ショッピングセンターとなります。

訪れることが楽しくなる 三井アウトレットパーク



明るく開放的な街並みのなか、ブランドアイテムのショッピングをリーズナブルに楽しめる施設です。
 全国13施設で展開し、地域ごとの特性に合わせたイベントなどを通じて、人が集まり、賑わう空間を演出します。



三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド
神奈川県横浜市 (2020年6月オープン)



三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島
三重県桑名市 (2002年3月オープン)



三井アウトレットパーク 木更津
千葉県木更津市 (2012年4月オープン)



三井アウトレットパーク 北陸小矢部
富山県小矢部市 (2015年7月オープン)



三井アウトレットパーク 札幌北広島
北海道北広島市 (2010年4月オープン)



1981年に誕生した「ららぽーと船橋ショッピングセンター」
 (現ららぽーとTOKYO-BAY)をはじめ、現在全国に16施設、
 海外に「ららぽーと上海金橋」を展開。三井不動産の商業施設事業を代表するブランドとして親しまれています。



国内13施設の他に、マレーシアの「クアラルンプール国際空港 セバン」、台湾の「台湾林口」「台中港」等、海外にも展開。
 リーズナブルな商品を買うだけでなく、ショッピングをする楽しみを最大限に広げるアウトレットモールです。



銀座、日本橋エリアをはじめ、都心を中心に28施設を展開。
 独自性の高い魅力的なテナントを揃え、アーバンライフに
 潤いと賑わいを提供しています。



「Mitsui Shopping Park & mall (アンドモール)」は、
 リアル店舗におけるショッピングとネットショッピングの双方の
 良さを同時に享受できる新しいコンセプトのファッション
 ECモールです。

都市の中に上質なゆとりをもたらす 三井ショッピングパーク アーバン

オンリーワンのショップや人気ブランドの新業態店舗など、それぞれのコンセプトに沿って、独自性の高い魅力的なテナントが揃いました。
アーバンライフに潤いと賑わいを提供しています。



COREDO室町テラス
東京都中央区(2019年9月オープン)



RAYARD MIYASHITA PARK
東京都渋谷区(2020年7月オープン)



RAYARD Hisaya-odori Park
愛知県名古屋市(2020年9月オープン)

Mitsui Shopping Park Urban 三井ショッピングパークアーバン

三井ショッピングパークの公式通販サイト Mitsui Shopping Park &mall(アンドモール)

Mitsui Shopping Park &mall

三井不動産グループは、昨今の消費行動のめぐるしい変化を捉え、リアル店舗における買い物とネットショッピングの双方の良さを同時に享受できる公式通販サイトを立ち上げました。今後、リアル店舗と通販サイトを融合させたオムニチャネルプラットフォームを軸として、新たなショッピング価値の創造に取り組んでまいります。



「Mitsui Shopping Park &mall」は倉庫在庫だけでなく、リアル店舗にある在庫を販売することができます。また、店舗で商品が欠品している場合、店舗スタッフは当サイトを使って倉庫在庫を販売したり、商品アピールすることもでき、リアル店舗とのシナジー効果を図ることができます。



渋谷の新たなランドマーク「RAYARD MIYASHITA PARK」

大規模な再開発が進む渋谷駅周辺エリアや、日本のトレンド発信地である原宿・表参道エリアの中間に位置し、「渋谷」というエリアの特性、「公園」の持つ魅力、「新しい時代」における価値観が混ざり合うことで、訪れるたびに新たなヒト・モノ・体験・文化に出会い、多様な感性が交わり、新たな価値を生み出すようなコミュニティが創出される場を提供しています。

名古屋の新しいシンボル「RAYARD Hisaya-odori Park」

リニューアルオープンする名古屋テレビ塔とともに、訪れるたびに新たなヒト・モノ・体験・文化に出会い、多様な感性が交わり、新たな価値を生み出すようなコミュニティが創出される場を提供していきます。地域のアクティビティやイベントと連動することで、公園の賑わいを街へ広げ、名古屋の新しいシンボルとして様々な情報発信を行っています。

ウェブ予約できる複数ショップ横断の試着室や、3D計測データを元に ファッションアドバイスがもらえる「LaLaport CLOSET(ららぽーとクローゼット)」

&mallで購入した商品の受け取り、試着、返品ができる「&mall DESK」が、家族で楽しめる機能満載のキッズスペースやカフェラウンジも兼ね備えた「LaLaport CLOSET」へと進化。



「LaLaport CLOSET」の主な機能

1. 購入前の商品もウェブ予約が可能な試着サービス。ららぽーとTOKYO-BAY内複数ショップの商品をまとめて試着可能。
2. 試着中もご家族が楽しく過ごせる充実のキッズスペースやカフェラウンジを併設。
広々とした試着室は、ご家族やベビーカー、ご友人と一緒に入れる広さを確保。
3. 株式会社ワコールが提供する3D計測サービス「3D smart & try」を活用した全身計測と、自分の体型分析に合わせたファッションアドバイスサービスを提供する「3D CLOSET powered by 3D smart & try」。
4. お客様の手持ち服を活用し、商品のコーディネート提案や接客を行う新たなサービスを開始。
5. ららぽーとTOKYO-BAY内外のショップのファッション・コスメが集まるショールーミングショッピングゾーン。

SDGsへの取り組み

働きやすい環境と豊かなコミュニティを創出する 「三井ショッピングパーク Staff Circle(スタッフサークル)」

働きやすさを実現する機能を集約したアプリ「はたLuck®」を活用して、当社グループの商業施設で働く約10万人のショップスタッフ一人ひとりに、ソフトとハード両面から様々なサポートやサービスを提供し、働きやすさと働きがい向上を支援する取り組みです。

主なサポートやサービス

1. リアルタイムな情報伝達・共有による円滑なコミュニケーションの実現
2. ショップ運営の生産性向上をサポート
3. 従業員証のデジタル化
4. スタッフ向けの特典・福利厚生サービスの拡充
5. オンライン配信による研修や自己啓発サポート



街に賑わい、利便、洗練を ららテラス、ララガーデン

街に賑わいをもたらす、日常生活の利便性を向上させ、洗練されたライフスタイルを提案するショッピングパーク。
多彩なショップやサービスを備え、ニーズに応えながら、常に新しい環境を届ける施設づくりを目指しています。



ららテラス 武蔵小杉
神奈川県川崎市(2014年4月オープン)



ララガーデン川口
埼玉県川口市(2008年11月オープン)

ホテル・リゾート

三井不動産グループは、お客さまに選ばれる“目的地”となるようなホテル・リゾートの創造に取り組んでいます。

その街、その地域ならではの文化や歴史が感じられるたたずまいと、一人ひとりのニーズに寄り添った心からのおもてなしで、

"Destinations"と呼ぶにふさわしい時間と空間を提供します。

Creating
New
Destinations



HOTEL THE MITSUI KYOTO

上質な宿泊主体型ホテル

街の魅力に触れながら滞在を楽しむことができる三井不動産グループのホテルブランドです。



街と地域の魅力を高めるラグジュアリーホテル

三井不動産グループのブランドに加え、世界のラグジュアリーブランドとともに事業を展開しています。



地域の特色を活かした自然を満喫できるリゾートホテル

多彩な食材・温かいサービス・豊富なアクティビティを備えた高品質な滞在型リゾートホテルを展開しています。



自然を満喫できるゴルフ場

カジュアルなリゾートコースから、フォーマルなメンバーシップコースまで、様々なニーズに応えた、自然を満喫できるゴルフ場を展開しています。



上質な宿泊主体型ホテル

「三井ガーデンホテル」と「ホテル ザ セレスティン」を全国で展開し、「記憶に残る」ご滞在と「第2の我が家」のようにくつろげる空間を提供しています。また、2020年からは新ブランド「sequence」が誕生。「SMART」「OPEN」「CULTURE」をコンセプトに、新しいホテルの滞在価値を提供します。



三井ガーデンホテル神宮外苑の杜プレミア
東京都新宿区(2019年11月開業・362室)
2020年グッドデザイン賞受賞



ホテル ザ セレスティン京都祇園
京都府京都市(2017年9月開業・157室)



sequence MIYASHITA PARK
東京都渋谷区(2020年8月開業・240室)

街と地域の魅力を高めるラグジュアリーホテル

ラグジュアリーホテルならではのおもてなしや、洗練された空間を提供しています。

「HOTEL THE MITSUI KYOTO」は、世界中から観光客を集める京都において当社グループの新たなフラッグシップとなる最高級ホテルを目指しています。



HOTEL THE MITSUI KYOTO
京都府京都市(2020年11月開業・161室)



ハレクラニ沖縄
沖縄県国頭郡恩納村(2019年7月開業・360室)

地域の特色を活かした自然を満喫できるリゾートホテル

その地域ならではの自然や文化・伝統が感じられる空間で、多彩な食材・温かいサービス・豊富なアクティビティを提供。

お客さまが心から楽しめるリゾートホテルを目指しています。



鳥羽国際ホテル
三重県鳥羽市(1964年3月開業・130室)



はいむるぶし
沖縄県八重山郡竹富町(1979年7月開業・148室)

SDGsへの取り組み

地域環境の保全に貢献する「サンゴ育成プログラム」

ハレクラニ沖縄では、「SDGs No.14:海の豊かさを守ろう」の一環として、「コーラル・ナーチャリング」プログラムを実施しています。沖縄海岸国定公園内に位置するホテル周辺の地域において、琉球大学熱帯生物園研究センター山城秀之教授からのアドバイスとサポート、加えて恩納村漁業協同組合のノウハウ提供を受け、気候変動や食害などの理由によりサンゴが死滅してしまった場所にサンゴを植え付け、かつてのサンゴ礁の姿を取り戻すことを目的とした活動です。宿泊されたお客さまも参加可能なプログラムとなっており、美しい海の保全を知っていただく最適なアクティビティです。この活動は、ホテル内の「ハレクラニビティック」において、ペットボトルを再生した原料でつくられたエコバッグの販売による利益の全額を用いて行われています。



すまいとくらし

「すまいとくらしのベストパートナー」へ。

私たち三井不動産グループは、その総合力を活かし、一人ひとりが自覚と誇りを持って、より付加価値の高い「上質なすまいと快適なくらし」を提供しています。

そして、これからもお客さまのニーズに寄り添う多様なすまいと、

多岐にわたるくらしのサービスをご用意し、信頼されるベストパートナーを目指してまいります。



パークシティ浜田山 2010年グッドデザイン賞受賞

三井不動産レジデンシャル

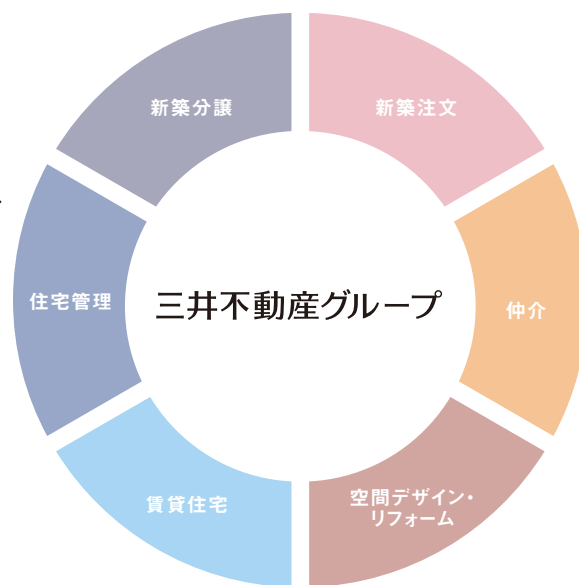
製販管一体の体制により、お客さまのニーズを用地取得や商品企画、ご入居後のサービスにまで反映。分譲マンション・分譲一戸建てに加え、賃貸マンションやシニアレジデンスなど、多様なライフスタイルにお応えする多様なすまいとサービスを一体で提供し、快適な暮らしをサポートします。

三井不動産レジデンシャルサービス

マンションの管理組合の実務は多岐にわたり、また専門知識を要することも多々あります。マンション管理のエキスパートとして、管理組合運営をサポート。お客さまの大切な資産をしっかりと守っていくためのマンション管理サービスをご提供しています。

三井不動産レジデンシャルリース

賃貸マンションの商品企画からコンサルティング、運営管理などのサービスを提供します。1986年の設立以来、培われた確かな実績と経験をもとに、オーナーさまの不動産活用をトータルにサポートするとともに、そこにすまう人に快適な生活空間を提供しています。



三井ホーム

オーダーメイドの注文住宅をはじめ、賃貸・土地活用、医院・施設建築、リフォームなど、ご要望に沿って専門のスタッフがデザイン性と快適さを両立したすまいをご提案します。

三井不動産リアルティ

不動産の売却・購入・賃貸に関する様々なサービスを提供。また、駐車場や駐輪場の管理・運営に加え、近年注目されているカーシェアリング事業も展開。全国における売買仲介取扱件数は1986年度から2020年度まで35年連続No.1です。

三井デザインテック

オフィスやホテルなど施設空間の企画・デザイン・設計・施工、マンション・戸建住宅・医院などのリフォーム、事業用建物のコンバージョン・リニューアルや多彩なインテリアサービスなどを展開。すまいや働き方において、多様化・ボンドレス化するニーズに対し、「空間デザイン」によるソリューションを提供することで、社会と人々のくらしに貢献しています。

三井不動産レジデンシャル ニーズに応える多彩なすまいと快適なくらしを提供



【分譲マンション】



【分譲一戸建て】



【賃貸マンション】



【シニアレジデンス】

ブランドコンセプト「Life-styling×経年優化」のもと、変化し続ける多様なライフスタイルに合わせた最適なソリューションと、入居後10年・20年後も安全安心で快適なくらしをお届けするためのサービスを提供しています。



三井ホーム 経年優化に根差した思想で、憧れを、かたちにする理想のすまいを提案



【注文住宅事例】

注文住宅

独自の「プレミアム・モノコック構法」による注文住宅。すまいに関するお客さまのご要望の一つひとつをカタチにしながらかつとも理想のすまいをつくりあげていきます。

大規模施設系(木造)建築

医療・福祉施設、文教施設や商業施設など、専用住宅以外の実績も豊富です。

三井不動産リアルティ すまいや街の価値を活かし、不動産の課題を解決



三井のリハウス

売買や賃貸に関する、一人ひとりの不動産ニーズに応え、安心・安全な不動産取引を実現します。

REALPLAN

都心不動産の売買・賃貸・活用をお考えの富裕層のお客さまのご要望にきめ細かな個別コンサルティングでお応えします。

三井のリパーク

土地所有者さまからお借りした土地を、駐車場や駐輪場として有効活用します。

careco

お買い物などの普段使いから週末のレジャーに至るまで、会員の皆さまにクルマのある生活を提案する「気軽に使えるカーシェアリング」サービスです。

三井デザインテック 三井のリフォーム デザイン力を活かし、空間に関するあらゆるサービスをワンストップで提供



【インテリアコーディネートサロン】LIVE LABO



【リフォーム事例】

ソリューションパートナー



目まぐるしく変化する社会情勢や多様化したお客さまの課題・社会課題に対して
ソリューションを提供するとともに、新たな事業領域への挑戦に取り組んでいます。

お客さまの課題・社会課題



三井不動産グループの事業基盤を活用し、
お客さまの課題に対するソリューションを提案

- オフィスビル
- 商業施設
- ホテル・リゾート
- すまいとくらし
- ロジスティクス

取り組み事例

リファイニング建築®を活用した老朽化不動産の再生

不動産オーナーが直面する建物老朽化問題。その社会的課題の解決手法として、リファイニング建築の普及に取り組んでいます。既存躯体の約80%を再利用することにより、環境負荷低減・低コストを実現しつつ、耐震性能を現行法規レベルまで向上させることにより建物の長寿命化を図ります。



ヴァロータ水川台 (1976年築、2020年再生)

空港運営事業

公共インフラの民営化として着目されている空港コンセッション事業。熊本空港・北海道7空港の運営に続き、2021年7月、広島空港の運営にも代表企業として参画しました。長年培ってきた街づくりの経験を活かしながら、空港を起点とした地域の発展に貢献していきます。



広島国際空港の将来像

※イメージ

三井不動産東大ラボ

国立大学法人東京大学と、都市・街づくり分野としては初となる産学協創協定を締結し、「三井不動産東大ラボ」を開始しました。afterコロナを見据えた都市の将来像の構築、テクノロジーの社会実装を通じたイノベーション創出、さらにはESG課題の解決に挑戦し、不確実性の高まる社会においても、時間とともに価値を高める街づくりにつなげていきます。



東京大学

Mitsui Fudosan
UTokyo Laboratory
<https://mfut-lab.ducr.u-tokyo.ac.jp>

東京ドームシティ

2021年1月、株式会社東京ドームを連結子会社化しました。東京ドームの持つアセットおよび運営ノウハウに、三井不動産の街づくりにおける知見および顧客基盤等を掛け合わせることで、東京ドームシティのさらなる付加価値創造を、そして当社街づくりフィールドにおけるスポーツ・エンターテインメントを核とした新たな魅力の創出を目指していきます。



東京ドームシティ

ロジスティクス

ともに、つなぐ。ともに、うみだす。

物流施設のニーズが高まるなか、先進的な物流施設を開発、提供し、
ロジスティクスを必要とする一つひとつの企業の課題解決のパートナーとして、
多種多様なヒト・モノ・コトをつなげ、仕組みやソリューションを提案していきます。

街づくり型開発プロジェクト

MFIP羽田、MFLP船橋は、地域全体の活性化に寄与する「街づくり型開発プロジェクト」です。MFIP羽田は、羽田エリアの産業活性化のため、ANAホールディングス株式会社と共同開発した「HANEDAインダストリアルパーク」の中核施設となります。また、MFLP船橋では、地域にも開放された約20,000㎡の緑地を開発エリア内に創出するとともに、保育施設やフェテリアなど様々な付帯施設を設けています。



三井不動産ロジスティクスパーク船橋

※イメージ

物流ICT体験型ショールーム「MFLP ICT LABO 2.0」

“人の手を一切介さない”「フルオートメーション物流モデル」を展示する物流ICT体験型ショールーム「MFLP ICT LABO 2.0」がMFLP船橋全体の付帯施設であるMFLP船橋・& GATE内に2020年2月オープンしました。国内外から約30種類の最先端の物流ICT機器を揃えており、人手不足等が深刻な物流業界において、本施設を活用した倉庫内物流の自動化・省人化ソリューションを提供しています。



物流ICT体験型ショールーム「MFLP ICT LABO 2.0」

業界初、CO₂排出量実質ゼロの「グリーンエネルギー倉庫」

MFLP海老名Iは屋根に太陽光発電設備を設置し、オンサイトでの発電・供給を実現するとともに、施設内の使用電力の100%を再生可能エネルギーとして供給する体制をととのえることで、入居企業者さまの抱えるRE100やESGの課題に対するニーズに応えます。また海老名インターチェンジに隣接することによる交通負荷低減やグリーンインフラを誇る「環境配慮型」開発となっています。(2022年9月竣工予定)



三井不動産ロジスティクスパーク海老名I

※イメージ



三井不動産
ロジスティクスパーク船橋II
(MFLP船橋II)
千葉県船橋市(2019年10月竣工)



三井不動産
インダストリアルパーク羽田
(MFIP羽田)
東京都大田区(2019年6月竣工)



三井不動産
ロジスティクスパーク茨木
(MFLP茨木)
大阪府茨木市(2017年9月竣工)



三井不動産
ロジスティクスパーク日野
(MFLP日野)
東京都日野市(2015年10月竣工)

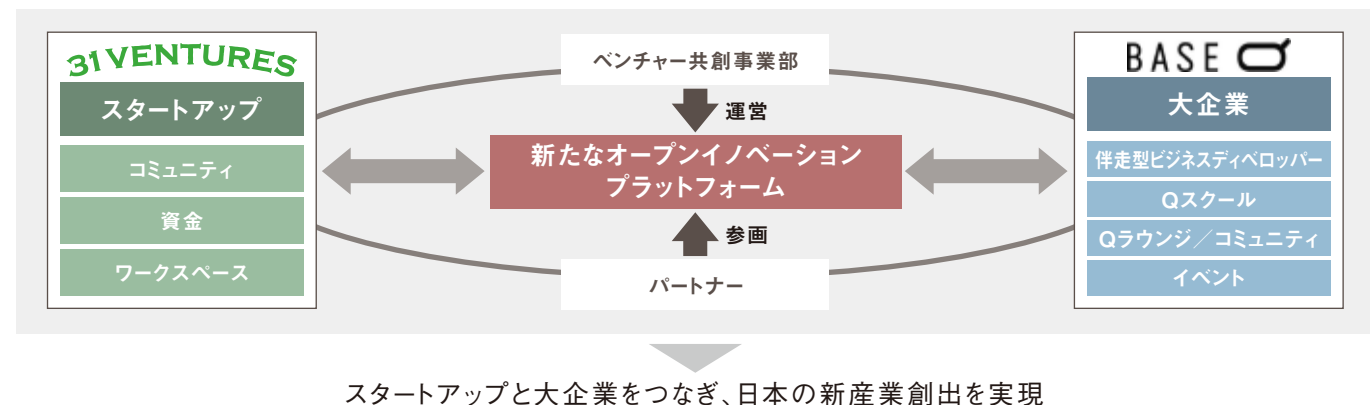
新規事業への取り組み

支援や投資等でスタートアップの成長加速をサポートする「ベンチャー共創」とともに、グループ全体での「ビジネスイノベーション」のために、不動産をイノベーションする取り組み「共創」「新分野進出」等に積極的に取り組んでいます。

共創事業

総額435億円のスタートアップ投資や大企業の事業開発支援を通じてオープンイノベーションエコシステムの創出へ。

ベンチャー共創事業部の全体像



スタートアップ



2015年4月に本格始動した三井不動産のベンチャー共創事業「31 VENTURES」(サンイチベンチャーズ)。既存事業強化および新規事業開発を目的に、当社グループの幅広いノウハウやネットワークを活用し、「コミュニティ」「資金」「ワークスペース」の3つの柱でスタートアップの成長加速をサポートしています。

コミュニティ	様々な切り口・属性のコミュニティを形成し、新たな知見との出会いや切磋琢磨する機会を創出
資金	スタートアップの成長に不可欠な、資金面におけるスピーディなサポートを実現
ワークスペース	スタートアップの事業を前進させる環境設計が整ったスタートアップ専用拠点を提供

ライフサイエンス・イノベーション推進事業



一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパンと連携した「コミュニティの構築」、イノベーションによる新産業の創造・育成につながるエコシステムを構築するための「場の整備」、およびライフサイエンス系ベンチャー企業へのLP投資を行う「資金の提供」を通じてイノベーション創出の支援をしています。2019年5月には、「本格的なウェットラボ」と「オフィス」が一体化した「賃貸ラボ&オフィス」事業を開始し、ライフサイエンス・イノベーション推進事業の拡大をしております。2021年3月には、当社が新築する初の賃貸ラボ&オフィス施設である「三井リンクラボ新木場1」が竣工いたしました。



三井リンクラボ新木場1

産学連携事業

産学協創研究を通じて、大学の英知からイノベーションのヒントを見つけ、それを街づくりやビジネスに活かしていきます。2020年には国立大学法人東京大学と、都市・街づくり分野としては初となる産学協創協定を締結し、「三井不動産東大ラボ」を開始しました。また、大学に潜在する研究成果を掘り起こしイノベーションを生み出す担い手として、大学発ベンチャーへの期待が高まっています。テクノロジーを活用した優れたアイデアを社会に還元し、都市に組み込まれるよう、大学発ベンチャーがイノベーションを実現しやすい環境をつくり、当社との協業をベースにした新産業創造を目指していきます。



新分野への進出

当社のイノベーションを起こすDNAを再起動し、これまでの事業領域にとらわれず、様々なイノベーションを推進していくことを目的に、事業提案制度「MAGIC」等を通じた事業開発も行っていきます。

MAGIC

グループ会社も含めた社員個人が有するアイデアを引き出して新事業創出を促すために、予算・人事・インセンティブ面でのサポートを充実させた事業提案制度です。



事業提案制度から生まれた「(株) GREENCOLLAR」が、日本とニュージーランドで生食用ぶどう生産・販売事業を開始

DXの取り組み

「VISION 2025」における「テクノロジーを活用し、不動産業そのものをイノベーションする」ことを実現するためDX(デジタルトランスフォーメーション)に積極的に取り組んでいます。「DX VISION 2025」を策定し、「事業変革」「働き方改革」「推進基盤」の3つの領域に注力テーマを定めました。DX事例の進捗状況や推進体制をまとめた「2020 DX白書」も公開しています。(代表事例:リアル商業施設とECサイト「&mall」のオムニチャネル化推進、柏の葉スマートシティにおけるヘルスケアサービスの提供 等)



スポーツを生かした街づくり

スポーツは人の心身を健康にするとともに、新たなつながりを生み出し、豊かなコミュニティを醸成していくことができる重要なソフトであると考え、スポーツの要素を盛り込んだ様々な街づくりを推進しています。東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、当社は街づくりにおける重要なコンテンツの一つとしてスポーツをより積極的に活用していき、それによって生まれる豊かなコミュニティをレガシーとして次の時代に引き継いでいきたいと考えています。



東京ドーム



三井不動産アイスパーク船橋

S&E総合研究所



新たな価値創造はここからはじまる。

S&E総合研究所は、三井不動産の社内シンクタンクとして、1991年に設立されました。自由な発想に基づく調査研究を通じ、社内外への情報発信やソリューションの提供・三井不動産グループの新たな価値創造支援を目的に活動をしています。



ケアデザイン室



超高齢社会、ケアデザインの時代。

世界的に高齢化が進むなかで新たに多様なニーズが生まれています。「健康」「医療」「介護」分野における調査・研究、情報の発信や最新の知見を活かしたすまいやサービス、街づくりなど、三井不動産グループ各社と連携しながらソリューションを提供しています。



介護マニュアル

[主要グループ会社]

オフィスビル関連事業

(株)NBFオフィスマネジメント	三井不動産ファシリティーズ(株)
日本ビルファンドマネジメント(株)	三井不動産ファシリティーズ・ウエスト(株)
三井不動産ビルマネジメント(株)	

商業施設関連事業

三井不動産商業マネジメント(株)	三井不動産フロンティアリートマネジメント(株)
------------------	-------------------------

住宅関連事業

(株)三井不動産アコモデーションファンドマネジメント	三井デザインテック(株)
三井不動産リアルティ(株)	三井ホーム(株)
三井不動産レジデンシャル(株)	
三井不動産レジデンシャルサービス(株)	
三井不動産レジデンシャルサービス関西(株)	
三井不動産レジデンシャルリース(株)	

ホテル・リゾート関連事業

伊勢志摩リゾートマネジメント(株)	成田スポーツ開発(株)
臼津開発(株)	(株)三井不動産ホテルマネジメント
大浅間ゴルフ(株)	(株)三井の森

ロジスティクス関連事業

三井不動産ロジスティクスリートマネジメント(株)

海外事業

三井不動産アメリカ(株)	オーストラリア三井不動産(株)
英国三井不動産(株)	台湾三井不動産股份有限公司
三井不動産アジア(株)	三井不動産(上海)投資諮詢有限公司
マレーシア三井不動産(株)	三井不動産諮詢(北京)有限公司
タイ三井不動産(株)	三井不動産諮詢(広州)有限公司

その他

第一園芸(株)	三井不動産アーキテクチャル・エンジニアリング(株)
(株)網町倶楽部	三井不動産TGスマートエナジー(株)
(株)東京ドーム	三井不動産投資顧問(株)
東京ミッドタウンマネジメント(株)	

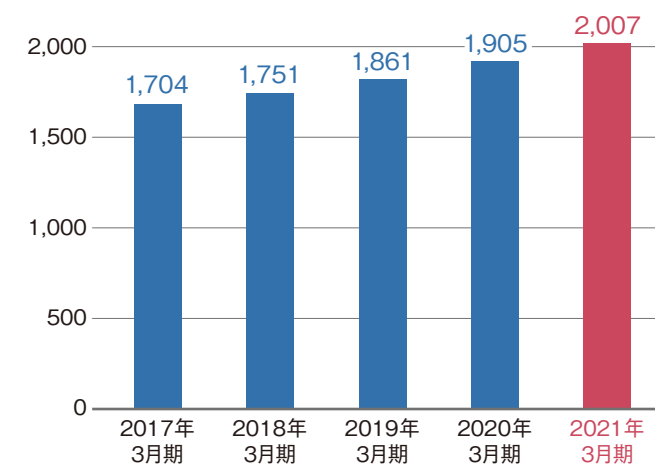
[業績の推移]

(連結)

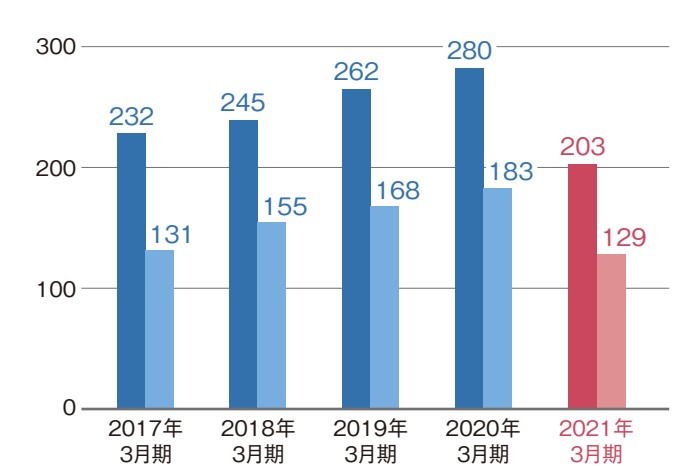
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	(単位:百万円)					
営業収益(売上高)	1,567,969	1,704,416	1,751,114	1,861,195	1,905,642	2,007,554
賃貸	509,178	536,518	558,165	603,284	636,056	623,073
分譲	391,577	488,710	499,607	530,766	524,094	714,739
マネジメント	334,652	347,672	353,813	404,346	421,490	402,929
三井ホーム ^(※1)	247,455	247,195	252,180	—	—	—
その他	85,104	84,320	87,346	322,797	324,001	266,812
営業利益	202,482	232,698	245,902	262,147	280,617	203,770
売上高営業利益率	12.9%	13.7%	14.0%	14.1%	14.7%	10.2%
経常利益	182,521	219,607	240,341	254,106	258,510	168,865
親会社株主に帰属する当期純利益	117,722	131,815	155,874	168,661	183,972	129,576
自己資本当期純利益率	6.2%	6.7%	7.4%	7.4%	7.7%	5.2%
総資産	5,363,477	5,551,751	6,284,723	6,802,731	7,395,359	7,741,972
純資産	1,989,041	2,056,931	2,287,700	2,420,804	2,486,525	2,655,991
	(単位:円)					
一株当たり当期純利益	119.14	133.40	157.75	171.30	188.35	134.44
配当性向	25.2%	25.5%	25.4%	25.7%	23.4%	32.7%

※1:当社グループ内での連携強化を目的として三井ホーム株式会社を完全子会社化したことに伴い、当連結会計年度よりセグメント区分についても従来の「賃貸」「分譲」「マネジメント」「三井ホーム」「その他」の5区分から、「賃貸」「分譲」「マネジメント」「その他」の4区分へと変更しています。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分へ組み替えて表示しています。

営業収益 (単位:十億円)



営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:十億円)



■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

[沿革]

1670

- 延宝元年(1673)
 - 三井家の家祖、三井高利が江戸本町一丁目に呉服店「越後屋」を創業
- 大正3年(1914)
 - 三井合名会社、不動産課を設立
- 昭和4年(1929)
 - 「三井本館」竣工(東京都)



三井本館

1940

- 昭和16年(1941)
 - 三井合名会社の不動産部門を分離し、資本金300万円、全株三井家所有のもと三井不動産(株)として設立
- 昭和24年(1949)
 - 株式上場
- 昭和31年(1956)
 - 清算中の「三井本社」を吸収合併

1960

- 昭和36年(1961)
 - 住宅地・別荘地の開発・販売事業に進出
- 昭和43年(1968)
 - 中高層住宅の建設・販売事業に進出
 - 日本初の超高層ビル「霞が関ビルディング」竣工(東京都)
- 昭和44年(1969)
 - 戸建て住宅の建設・販売事業に進出
 - 「三井不動産販売(株)(現:三井不動産リアルティ(株))」設立
- 昭和46年(1971)
 - 「三田綱町パークマンション」竣工(東京都)
- 昭和48年(1973)
 - 「米国三井不動産」設立
- 昭和49年(1974)
 - 「三井ホーム(株)」設立



霞が関ビルディング



三田綱町パークマンション

1980

- 昭和55年(1980)
 - 共同事業システム「Let's」を開始
- 昭和56年(1981)
 - 商業施設事業第1号
 - 「ららぽーとTOKYO-BAY」開業(千葉県)
- 昭和59年(1984)
 - 国内ホテル第1号
 - 「三井ガーデンホテル大阪淀屋橋」開業(大阪府)
 - ホテル「ハレクラニ」開業(ハワイ)
- 昭和61年(1986)
 - 「1251アメリカ街」取得(ニューヨーク)
- 平成5年(1993)
 - 「大川端リバーシティ21西ブロック」全体竣工(東京都)
- 平成6年(1994)
 - 「湘南国際村」開村(神奈川県)
- 平成7年(1995)
 - 日本初の本格的アウトレットモール
 - 「三井アウトレットパーク 大阪鶴見」開業(大阪府)
- 平成10年(1998)
 - 「三井本館」重要文化財指定
- 平成11年(1999)
 - 「ゲートシティ大崎」竣工(東京都)
 - 「三井アウトレットパーク マリンピア神戸」開業(兵庫県)



ららぽーとTOKYO-BAY



ハレクラニ



大川端リバーシティ21

2000

- 平成12年(2000)
 - オフィスビルファンド運用開始
 - 三井不動産グループ中期経営計画策定
- 平成14年(2002)
 - 「中之島三井ビルディング」竣工(大阪府)
- 平成15年(2003)
 - 「青山パークタワー」竣工(東京都)
 - 三井不動産グループ長期経営計画「チャレンジ・プラン2008」策定
- 平成16年(2004)
 - 「日本橋一丁目三井ビルディング(COREDO日本橋)」竣工(東京都)
- 平成17年(2005)
 - 「日本橋三井タワー」竣工(東京都)
 - 「三井ガーデンホテル銀座プレミア」開業(東京都)
 - 「三井不動産レジデンシャル(株)」設立
- 平成18年(2006)
 - 「アーバンドック ららぽーと豊洲」開業(東京都)
 - 「三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ」開業(神奈川県)
 - 「ららぽーと柏の葉」開業(千葉県)
- 平成19年(2007)
 - 「東京ミッドタウン」開業(東京都)
 - 三井不動産グループ長期経営計画「新チャレンジ・プラン2016」策定
 - 「グラントウキョウノースター」竣工(東京都)
- 平成20年(2008)
 - 「赤坂Bizタワー(赤坂サカス内)」竣工(東京都)
 - 「三井アウトレットパーク 仙台港」開業(宮城県)



COREDO日本橋



アーバンドック ららぽーと豊洲



東京ミッドタウン

2010

- 平成22年(2010)
 - 「室町東三井ビルディング(COREDO室町1)」竣工(東京都)
- 平成24年(2012)
 - 「横浜三井ビルディング」竣工(神奈川県)
 - 三井不動産グループ中長期経営計画「イノベーション2017」策定
 - 「ダイバーシティ東京 プラザ」開業(東京都)
- 平成26年(2014)
 - 「三井ガーデンホテル大阪プレミア」開業(大阪府)
 - 「室町古河三井ビルディング(COREDO室町2)」竣工(東京都)
 - 「室町ちばぎん三井ビルディング(COREDO室町3)」竣工(東京都)
 - 「飯田橋グラン・ブルーム」竣工(東京都)
 - 「柏の葉スマートシティ「ゲートスクエア」開業(千葉県)
 - 「福徳神社」竣工(東京都)
 - 「ミレニアム 三井ガーデンホテル 東京」開業(東京都)
- 平成27年(2015)
 - 三井不動産グループ中長期経営計画「イノベーション2017 ステージII」策定
 - 「三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港 セバン」開業(クアラルンプール)
 - 「EXPOCITY」開業(大阪府)
- 平成28年(2016)
 - 「三井アウトレットパーク 台湾林口」開業(台湾)
 - 「福徳の森」完成(東京都)
- 平成29年(2017)
 - 「ワークスタイリング」開業(東京都)
 - 「ホテル ザ セレスティン 京都祇園」開業(京都府)
 - 「ホテル ザ セレスティン 東京芝」再開業(東京都)
 - 「Mitsui Shopping Park & mall(アンドモール)」オープン
- 平成30年(2018)
 - 「東京ミッドタウン日比谷」竣工(東京都)
 - 三井不動産グループ長期経営方針「VISION 2025」策定
 - 「日本橋高島屋三井ビルディング」竣工(東京都)
 - 「ららぽーと名古屋みなとアクルス」開業(愛知県)
 - 「55ハドソンヤード」竣工(ニューヨーク)
 - 「三井ガーデンホテル日本橋プレミア」開業(東京都)
 - 「テレビジョンセンター再開発計画(第一期)」竣工(ロンドン)
 - 「三井アウトレットパーク 台中港」開業(台湾)



柏の葉スマートシティ「ゲートスクエア」



福徳神社



福徳の森



ワークスタイリング渋谷



東京ミッドタウン日比谷

2019

令和元年 (2019)

- 「読売並木通りビル」竣工(東京都)
- 「日本橋室町三井タワー」竣工、
「COREDO室町テラス」グランドオープン(東京都)
- 「三井不動産インダストリアルパーク羽田」竣工(東京都)
- 「MFLP船橋II、MFLP船橋・&GATE」竣工(千葉県)
- 「ららぽーと沼津」開業(静岡県)
- 「ハレクラニ沖縄」開業(沖縄県)
- ホテル「ハレプナ ワイキキ」開業(ハワイ)
※1987年開業「ワイキキ パークホテル」をリニューアル
- 「三井ガーデンホテル福岡祇園」開業(福岡県)
- 「三井ガーデンホテル神宮外苑の杜プレミア」開業(東京都)



COREDO室町テラス



ハレクラニ沖縄

2020

令和2年 (2020)

- 「三井ガーデンホテル六本木プレミア」開業(東京都)
- 「MFLP ICT LABO 2.0」開設(千葉県)
- 「Otemachi One」竣工(東京都)
- 「豊洲ベイサイドクロスタワー」竣工(東京都)
- 「アーバンドック ららぽーと豊洲」スケールアップオープン(東京都)
- 「三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド」リニューアル開業(神奈川県)
※1988年開業
- 「三井ガーデンホテル福岡中洲」開業(福岡県)
- 「RAYARD MIYASHITA PARK」開業(東京都)
- 「RAYARD Hisaya-odori Park」開業(愛知県)
- 「文京ガーデン ゲートタワー」竣工(東京都)
- 「MFLP立川立飛」竣工(東京都)
- 「三井不動産総合技術アカデミー」開校(千葉県)
- 「MFLP大阪I」竣工(大阪府)
- 「三井ガーデンホテル豊洲ベイサイドクロス」開業(東京都)
- 「MGH Mitsui Garden Hotel 台北忠孝」開業(台湾)
- 「MFLP八千代勝田台」竣工(千葉県)
- 「フォーシーズンズホテル東京大手町」開業(東京都)
- 「ららぽーと愛知東郷」開業(愛知県)
- 「三井ガーデンホテル京都河原町浄教寺」開業(京都府)
- 「豊洲ベイサイドクロスB棟」竣工(東京都)
- 「HOTEL THE MITSUI KYOTO」開業(京都府)
- 「sequence MIYASHITA PARK」開業(東京都)
- 「sequence KYOTO GOJO」開業(京都府)
- 「sequence SUIDOBASHI」開業(東京都)



豊洲ベイサイドクロスタワー



RAYARD Hisaya-odori Park



HOTEL THE MITSUI KYOTO



sequence MIYASHITA PARK



ららぽーと上海金橋

令和3年 (2021)

- コーポレート・ロゴマーク「&」マークをリブランド
- 「MFLP鳥栖」竣工(佐賀県)
- 「三井リンクラボ新木場1」竣工(東京都)
- 「ららぽーと上海金橋」開業(上海)
- 「MFLP所沢」竣工(埼玉県)
- 「MFLP船橋III」「MFLP船橋・&PARK」竣工(千葉県)

※旧物件名は現物件名で表記されています。

三井不動産は、不動産開発におけるゴールド街づくりパートナーとして、
東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。





東京2020ゴールド街づくりパートナー



表紙の印刷は、印刷時に有害な廃液が出ない「水なし印刷」で印刷しています。



本誌は、環境に配慮してFSC® 森林認証紙を使用しています。



本誌は、環境に配慮して植物性油を一部使用したインキで印刷しています。